



越生小学校



8月29日(金)、今年度2回目の避難訓練を行いました。今回の訓練は、地震の後に職員室から火災が発生したという想定で行いました。越生町の消防団の方に訓練の様子を見ていただき、避難の様子についてご指導をいただきました。また、今回の訓練は埼玉県議会が推奨するシェイクアウト訓練も兼ねて行いました。

梅園小学校



8月29日(金)に避難訓練を行いました。避難訓練では、避難する方法を確認することができました。また、西入間広域消防組合越生分署の方の指導を受けながら、煙体験と消火体験を行いました。

越生中学校

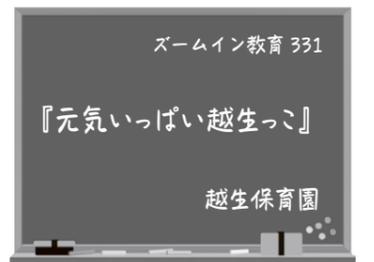


8月29日(金)、大規模な地震とその後の火災を想定した避難訓練を行いました。今回は授業中を想定し、特別教室で地震が発生した時の対応の確認を行ったクラスもありました。全員が「自分の身は自分で守る」という気持ちを持ち、真剣に取り組むことができました。



おごせっ子広場

町内の小中学校や町の行事等に参加することもたちを写真で紹介するコーナーです。



お散歩や体育あそびで元気なからだづくりをしています。

0、1、2歳児は、落ち着いた環境の中で『愛着形成』を中心とした保育、3、4、5歳児は、生活やあそびの中から、自分のことを経験、自分で考えて行動できる『主体性』を目指した保育に取り組んでいます。緑豊かな環境のなかにある越生保育園。気候の良い四季には0歳児クラスから5歳児クラスまでお散歩に出かけます。園のまわりには様々な散歩コースがあり、時には子どもたちと歩き先を決めた年齢に合わせた散歩コースをそれぞれ楽しんでいきます。1歳児クラスまでお散歩に出かけます。



また3歳児クラスからは体育講師を招いて「体育あそび」の時間もあります。マット運動や鉄棒、ドッチボールや縄跳びなど幅広い内容を楽しい雰囲気の中で取り組み、体づくりをしています。日々の活動を運動会で発表すること、子どもたちの自信にも繋がっているようです。越生保育園の子どもたちはお散歩や体育あそびで体をたくさん動かして丈夫な体づくりを楽しんでいます。

越生浪漫 No.200 「越生浪漫」記念号

「越生浪漫」は本号で掲載200回を迎えました。昭和56年(1981)に前身である「越生町史編さんだより」が連載されて以降、内容の見直しや休載期間を挟みながら、文化財担当者が越生の歴史や文化、自然、時事ネタを紹介してきました。今月は記念号として過去の記事を振り返ります。今では見聞きすること難しくなった貴重な情報が満載です(既刊紙は町立図書館内で閲覧可能です)。



(一)当時の広報はB5判(8頁)



(二)広報がB5判ワイド(10頁)に拡大する

- ③「越生の史跡をたずねて」昭和60年6月～62年3月、全21回。初回は「龍徳寺(龍ヶ谷)」。郷土に目を向けるきっかけづくりにと、自然、社寺、遺跡、建造物などを紹介。
- ④「越生風土記」昭和62年4月～平成元年3月、全24回。初回は「越生、越辺川の語源をめぐって」。

【当時の出来事】  
夫婦岩岩陰遺跡(津久根)で縄文時代の人骨が出土。「町の花・木・鳥」制定。

- ①「越生町史編さんだより」昭和56年(1981)7月～59年3月、全33回。初回は「越生氏系図」。町史史料の収集調査の成果を紹介するコーナーとして誕生。
- ②「越生町史史料紹介」昭和59年4月～60年9月、全17回。『越生町史調査報告第一集 山田家文書目録』の刊行を記念して、内容の一部を紹介。

【当時の出来事】  
越生駅東特定土地区画整理事業の開始。七福神めぐり開始。



(四)現在は最大30頁に、写真や情報量のボリュームアップ



(三)広報がA4判(12頁)に拡大、のちに2色刷りになる

- ⑦「発見自然 越生浪漫」平成20年7月～21年11月、全14回。初回は「クライマーのメッカ」。
- ⑧「自然歴史 越生浪漫」平成22年1月～28年3月、全72回。初回は「太田道灌覚書 その一」。
- ⑨「越生浪漫」平成28年4月～現在まで継続中。初回は「法恩寺の寺宝4点が埼玉県指定文化財に」。

【当時の出来事】  
町のマスコット「うめりん」誕生。全国初「ハイキングのまち」宣言。

- ⑤「町史編さんだより」平成元年4月～7年4月、全73回。初回は「資料所在確認調査」。
- ⑥「新・町史編さんだより」平成14年5月～18年4月、全48回。初回は「自然史編の編さんについて」。

【当時の出来事】  
町の人口が1万4千人を超える。越生出身の竹腰博晃さんがデザインした「コバトン」が県のマスコットになる。